

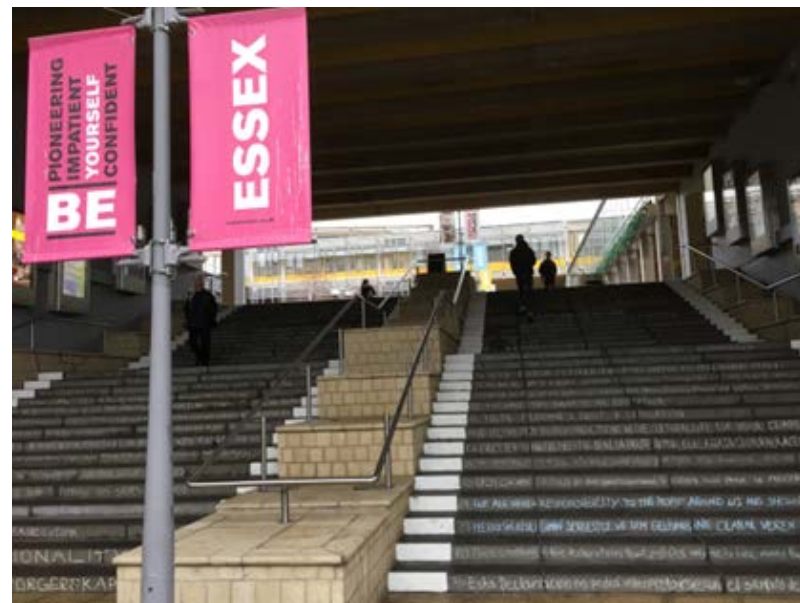
私の留学生活 ～英国エセックス大学客員研究員の場合

2017年度

エセックス大学人権センター客員研究員
弁護士 藤本圭子（53期）

エセックス大学

- ・1964年設立国立大学
- ・卒業生
オスカル・アリアス・サンチェス
(ノーベル平和賞受賞)
クリストファー・ピサリデス
(ノーベル経済学賞受賞)
- ・国際人権の分野ではトップクラス
- ・世界百数十か国からの留学生や指導者
- ・人権条約機関の委員、国連の特別報告者、国際NGOの法律顧問
- ・卒業生は国際NGO、国際機関等で活躍
- ・「エセックスマフィア」と言われるネットワーク



留学までの流れ

2016年12月 エセックス大学の追加募集

2017年 1月 応募

2月 正式決定

8月 VISA取得、渡英

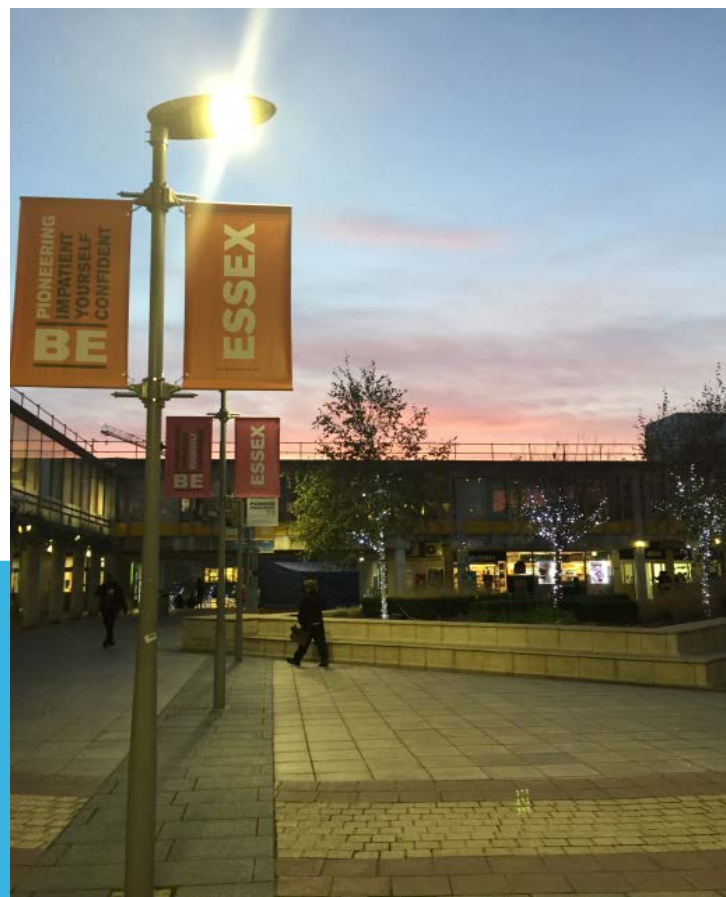


【研究テーマ】

英国における女性に対する暴力根絶への取組およびジェンダーギャップ解消政策

【研究方法】

- 1、講義の聴講
- 2、文献
- 3、視察訪問・インタビュー



渡 英 後

- ・5週間の英語コース
- ・生活のセットアップ
(家探し、銀行口座開設等々)

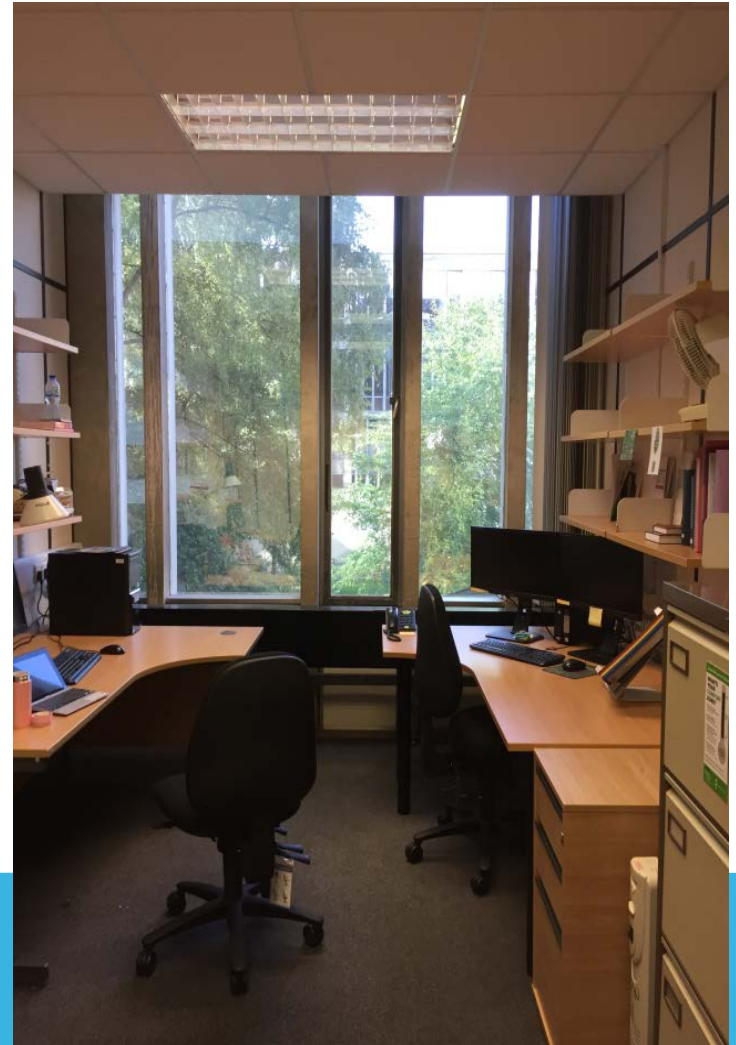


講義の聴講

- 家族法
- 労働法
- 女性の人権
- 英国における人権保護
- 無料の英語コース

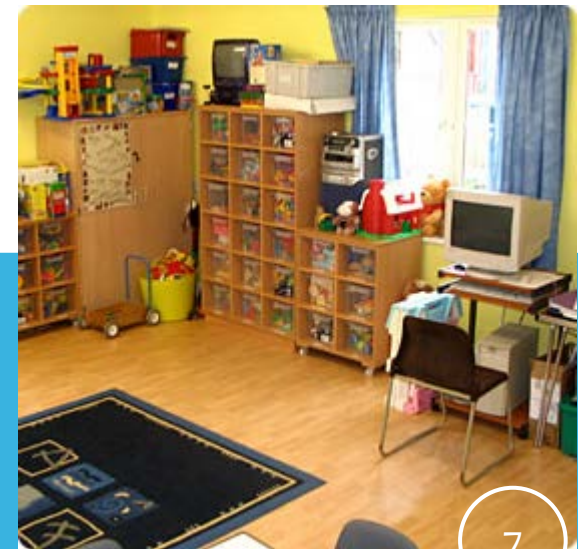
図書館の利用

- 各種データベース
- 他大学の文献利用



学外活動～視察・インタビュー

- ・レイプクライシスセンターCARA/性犯罪被害者支援の内容および組織運営
- ・フランス司法省/ハーグ事案への対応内容
- ・Colchester & Tendring Women's Refuge/DVシェルターの実情, 被害者支援の内容, 加害者教育の現状
- ・Central London Family Court/家裁へのセラピードッグ導入効果
- ・Safelives /政府のDV施策とNGOの関与
- ・Colchester Academy/高校生向け性教育授業(避妊について)の視察
- ・Ms. Charlotte Knappett (ソリシター)/英国でのDV裁判実務, リーガルエイド
- ・Witness Support/性犯罪被害者への法廷支援
- ・Victim Support/犯罪被害者への支援
- ・クローディア・アックナー元裁判官/性犯罪法および性犯罪事件の刑事裁判実務
- ・Centre for Women's Justice/女性の人権擁護を目的とした戦略的な訴訟活動の遂行
- ・Lynn Roberts裁判官/英国の家裁実務, セラピードッグ
- ・Colchester Food Bank/フードバンク実情, 組織運営
- ・CSW(国連女性の地位委員会) @New York



CENTRE FOR ACTION ON RAPE AND ABUSE (CARA)



ロンドン中央家裁



現地での生活

LLM生とシェアハウス(750£/月)

家族との生活

地元の人たちとのつながり

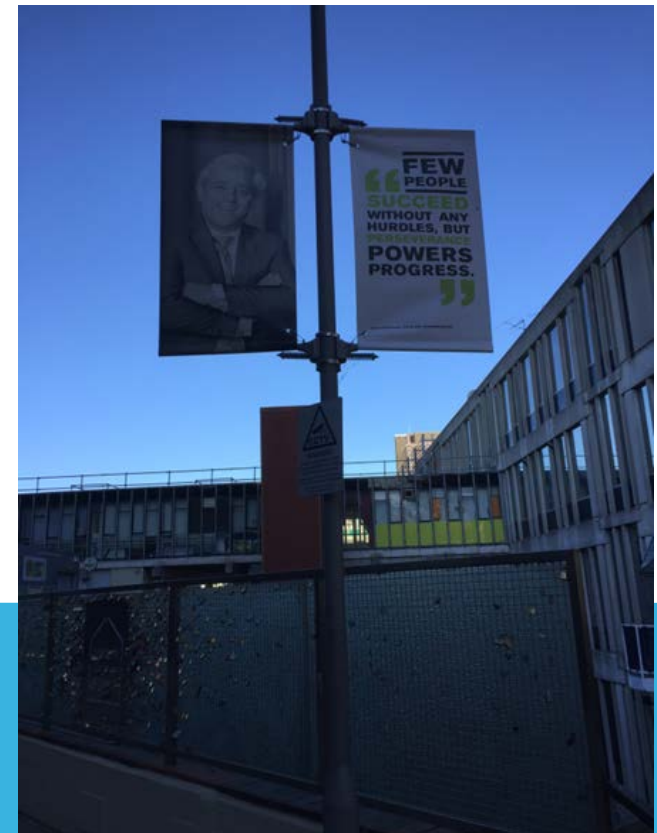
文化の違い

物価、医療、税制



留学の意義

- 日本を外から見ることによって得られる視点
- ミッドキャリアとしての留学
- 国際的なネットワーク
- なぜイギリスなのか？
- イギリスの特徴
 - 定型がない
 - NGOの力
 - 欧州人権裁判所の役割



留学準備

・まずは語学力の底上げ

- Podcast
- BBC iPlayer

・情報収集

・ビザ

・仕事の引継ぎ

・(可能なら)下見

